

特定非営利活動法人日本臨床腫瘍学会
第二回 専門医認定試験結果

合格者 受験番号

0001	0021	0039	0059	0074	0090
0002	0022	0040	0060	0076	0092
0003	0023	0041	0061	0077	0094
0004	0024	0042	0062	0078	0095
0006	0025	0043	0063	0079	0096
0007	0026	0047	0065	0080	0097
0008	0027	0049	0066	0081	0098
0009	0029	0050	0067	0082	0100
0012	0030	0051	0068	0083	0101
0016	0031	0052	0069	0084	
0017	0032	0055	0070	0086	
0018	0033	0056	0071	0087	
0019	0036	0057	0072	0088	
0020	0037	0058	0073	0089	

受験者：93名、合格者：79名、合格率 85%

特定非営利活動法人日本臨床腫瘍学会
専門医認定試験 合否判定基準

1) 病歴要約

2名の査読者による査読点が60点以上で総合的に合格と判定された受験者が筆記試験ならびに面接試験を受験することが出来る。

但し、査読者の1名が不合格と判定した場合は、もう1名の査読者と合議し合否を決定する。2名の査読者とも60点未満の場合は不合格とする。

2) 筆記試験

腫瘍学一般、臨床薬理、インフォームドコンセント、臨床試験、治療学総論、各臓器・領域腫瘍総論、支持療法・緩和医療等についての設問に対し、正答率 70%以上は合格、70%未満はその年の難易度によって合格ラインを決定する。

3) 面接試験

受持患者病歴要約から1症例を選択し提示を行い、2名ないし3名の面接官とディスカッションする形で面接試験を実施する。

なかでも実際に診療に携った症例かどうか、がんの治療、特にがん薬物療法について、EBM、標準的な治療が十分理解・実施されているかどうか、また安全管理、倫理面について評価をする。優・良・可・不可の4段階評定の「可」以上を合格とする。

以上、1) 2) 3) を総合的に判断して合否を決定する。